



### 認知症症状の変化に対してのご本人・ご家族支援

70歳代男性、要介護2 認知症 妻と二人暮らし  
猟やバイク、庭の手入れなど多趣味に過ごされる

趣味活動への興味が薄れ、外出機会が減少

→愛犬が亡くなり、敷地内から出なくなる

→妻との意見で食い違いが増える



ご本人 『家で過ごすことに問題ない』

妻 『(本人に) 外出する時間を作ってほしい』

課題の相違

利用前に自宅へ訪問



ご本人

- ・犬と散歩するから運動は大丈夫
- ・交流は知人と話が出来ており、十分
- ・食事は家で食べたい



妻

- ・家から出る機会も少なく身体面が心配
- ・夫は「自分の話」ばかりなので、他者と関係を保てるかは不安

対応

趣味や元の職業を活かした活動

社交性を持って楽しく過ごされる

利用は定着…

認知症症状は日々変化

認知機能：トイレ・部屋の場所が分からない、着替えが難しい

精神状態：夜間に不安が強く、トイレや時間の確認行為が増える

歩行能力：歩幅が狭くなり、つまづくことが増える(失行)

妻が感じる「課題」を妻に寄り添いながら、ご本人目線の支援へ

妻へ、作業療法士が行ったアドバイス！

「症状の経過」に対して

不安な気持ちが強くなると、動く機会が減ることがよくみられます。

得意分野の庭・畑仕事を通じて運動や気分転換になる支援を行きましょう。

困りごとの確認

Q：物事へのこだわりが以前より強くなって話を聞かなくなった

A：安心したい気持ちからこだわりが増えてきています。

妻から感謝されると落ち着くご様子があるので、意識してみてください。

対応方法の提案

Q：夜、1人でトイレに行けなくて起こされることが増えた

A：暗くなると場所の認識が変化することがあるのでトイレまでの動線で電気をつけてみましょう。

妻が昼寝の時間を確保するスケジュールも考えてみましょう。



妻より

自宅での過ごし方、トイレや不安への声のかけ方について、工夫できるようになりました



# スリングエクササイズ

吊り帯（スリング・レッドコート）を使って行う運動療法。身体にかかる重力を調整できるため転倒のリスクが少なく、座位・立位保持が不安定の方でも実施できます。



体幹・下肢筋力↑

関節可動域↑

バランス機能↑

リラクゼーション

## 当荘での取り組み

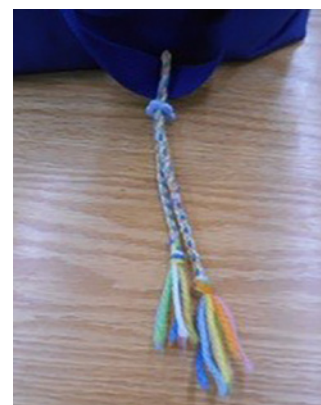
最大6人の小集団での体操を午前、午後1回30分で座位での運動を中心に実施しています。

また、個別での立位でのバランス運動にも使用しています。

## 創作紹介

### ～ミサンガ作り（編み物）～

病気になる前から編み物にチャレンジしたいと思っておられました。失調症状が強く、手を細やかに動かすことが難しく、諦めていましたが、本人の能力に合った道具を選定したことで、余暇として「ミサンガ作り」を楽しむ事ができるようになりました。



運動だけでなく、  
楽しい時間が  
出来て嬉しいです

介護老人保健施設鴻池荘 TEL.0745-64-2180

受付時間 9:00～17:00 担当者:相談員 FAX.0745-62-1092

お問合せフォームはこちら。QRコードからアクセスできます。

